

1.	③	11.	②	21.	④	31.	③	41.	②
2.	①	12.	②	22.	①	32.	④	42.	③
3.	②	13.	②	23.	②	33.	①	43.	②
4.	③	14.	③	24.	③	34.	①	44.	④
5.	②	15.	①	25.	④	35.	②	45.	①
6.	④	16.	④	26.	④	36.	①	46.	④
7.	④	17.	①	27.	①	37.	③	47.	②
8.	①	18.	③	28.	①	38.	②	48.	③
9.	③	19.	②	29.	④	39.	②	49.	②
10.	④	20.	①	30.	①	40.	①	50.	③

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「a cup of 〜」です。「a cup of 〜」は、コーヒーや紅茶など、主に温かい飲み物を取っ手のついたカップで数えるときの単位です。他の選択肢は、①「a glass of」が「コップ一杯の」、②「a bottle of」が「ボトル一本の」、④「a piece of」が「一切れの、一枚の」という意味です。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「ところで」です。「by the way」は、話の途中で話題を変えるときに使う「ところで」という意味の表現です。会話の潤滑油としてとても便利です。②「その上」は in addition、③「その代わりに」は instead、④「その結果」は as a result です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「〜し始める」です。「start + 動詞の-ing 形」または「start + to do」の形で、何かを「し始める」という動作の開始を表します。①「〜し終わる」は finish doing、③「〜し続ける」は keep doing、④「〜するのをやめる」は stop doing です。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「～して楽しむ」です。「enjoy」の後ろには、動詞の-ing 形（動名詞）が続き、「～することを楽しむ」という意味になります。finish と同じく、to do の形はとらないので気をつけましょう。①は be good at doing、②は hate doing、④は be interested in doing など表せます。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②「家に帰ってくる」です。「come home」は、聞き手や話者のいる「家に帰ってくる」という、視点が家にある表現です。一方「go home」は、今いる場所から離れて「家に帰る（行く）」という表現です。この違いを理解しておきましょう。①は go home、③と④は stay at home に近いです。

6.

解答 ④

【解説】

正解は④「get home」です。「get home」は「家に着く」という到着を表す表現です。「get to ～」で「～に着く」という意味ですが、home は副詞なので to は不要です。他の選択肢は、①「go home」が「家に帰る（行く）」、②「stay home」が「家にいる、外出しない」、③「at home」が「家で」です。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「more and more」です。「比較級 and 比較級」の形で、「ますます～、だんだん～」と、程度が強まっていく様子を表します。「more and more」は「ますます多く」という意味です。他の選択肢は、①「less and less」が「ますます少なく」、②「little by little」が「少しずつ」、③「one by one」が「一人ずつ、一つずつ」です。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「風邪をひく」です。「catch a cold」は、「風邪をひく」という動作を表す決まった表現です。動詞 **catch** を使うのがポイントです。②「病気になる」は **get sick**、③「けがをする」は **get injured**、④「熱がある」は **have a fever** と言います。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「have a good time」です。「have a good time」は「楽しい時を過ごす」という決まった言い方です。動詞は **have** を使うのがポイントです。他の選択肢のように **get, make, do** などはいません。パーティーや旅行の感想を言うときなどによく使われます。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に助けを求める」です。「ask (人) for help」で、「(人) に助け (help) を求める (ask for)」という意味になります。困ったときに使う大切な表現です。①は **refuse to help**、②は **go to help**、③は **can help** のようになります。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②「A と B の両方」です。「both A and B」の形で、二つのもの A と B を指して「A と B の両方とも」という意味を表します。①「A か B のどちらか」は **either A or B**、④「A も B も～ない」は **neither A nor B** という表現になります。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「B へ向けて出発する」です。「leave for B」は、「B (目的地) へ向けて (今いる場所を) 出発する」という意味です。前置詞 **for** が「～へ向かって」という方向を示します。①「B から出発す

る」は leave B や leave from B、③「B に到着する」は arrive at/in B、④「B に滞在する」は stay in B となります。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「have to do」です。「have to + 動詞の原形」で、「～しなければならない」という義務を表します。他の選択肢は、①「can do」が「～できる」、③「should do」が「～すべきだ」、④「need to do」が「～する必要がある」と、それぞれニュアンスの違う助動詞の働きをします。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③「stay in」です。「stay in ～」や「stay at ～」で、ホテルや都市などの場所に「滞在する」という意味になります。他の選択肢は、①「live in」が「～に住む」、②「visit to」は visit の後に to は不要で「～を訪れる」、④「go at」は不自然な組み合わせです。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「A を B へ連れて行く」です。「take A to B」は、「A（人・物）を B（場所）へ連れて行く、持って行く」という移動を表す表現です。例えば、人を病院へ連れて行ったり、本を図書館へ持って行ったりする場合に使えます。②は leave A at B、③は bring A from B、④は get A at B のような表現になります。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「go out」です。「go out」は「(楽しみのために) 外出する、出かける」という意味です。他の選択肢も go を使った重要な熟語で、①「go away」が「立ち去る、いなくなる」、②「go on」が「続く」、③「go off」が「(爆弾などが) 爆発する、(目覚ましが) 鳴る」といった意味になります。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「look around」です。「look around」で、辺りを「見回す」や、店の中などを「見て回る」という意味になります。他の選択肢も look を使った重要表現で、②「look down」が「下を見る」、③「look up」が「上を見る、調べる」、④「look out」が「外を見る、気をつける」です。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「風呂に入る」です。「take a bath」で、湯船につかる「お風呂に入る」という決まった言い方になります。動詞 take を使うのがポイントです。①「シャワーを浴びる」は take a shower、②「顔を洗う」は wash one's face、④「歯を磨く」は brush one's teeth です。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②「on vacation」です。「on vacation」で「休暇中で、休みをとって」という状態を表します。主にアメリカで使われる表現です。（イギリスでは on holiday が一般的です。）他の選択肢は、①「at business」は不自然な表現ですが「仕事で」なら on business、③「in summer」は「夏に」、④「for a week」は「一週間」です。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「(広い場所) に到着する」です。「arrive in 〜」は、国や都市、町のような、ある程度の広がりがある場所に「到着する」ときに使います。②「(狭い場所) に到着する」場合は arrive at を使います。この in と at の使い分けが大切です。③は leave from、④は pass です。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④「after work」です。「after work」で「仕事の後で、終業後に」という意味になります。他の選択肢は、①「before work」が「仕事の前に」、②「at work」が「職場で、工作中で」、③「on work」は不自然な表現です。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「散歩する」です。「take a walk」で「散歩する」という決まった言い方です。これも動詞 take を使いますね。「go for a walk」も同じ意味で使われます。②「休憩する」は take a break、③「昼寝する」は take a nap、④「外出する」は go out です。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に興味がある」です。「be interested in ～」で、物事に対して「興味がある、関心がある」という気持ちを表します。人の感情を表すので、-ed 形になるのがポイントです。①は be surprised at、③は be disappointed with、④は be satisfied with です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「do my homework」です。「宿題をする」は、動詞 do を使って「do one's homework」と表現するのが決まりです。one's の部分には my, your, his など、誰の宿題かを表す言葉が入ります。①make（作る）や④write（書く）など、他の動詞は使わないので注意しましょう。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「hear about ～」です。「hear about ～」は、事件やうわさなど「～について（間接的に）聞く、耳にする」という意味で使われます。①「listen about」は不自然な表現です。②「know from」は「～から知る」、③「tell of」は「～について物語る」のような意味になります。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を待つ」です。「wait for ～」で、人やバスなどを「待つ」という状態を表します。for の後ろに待つ対象がきます。①「～を探す」は look for、②「～の世話をする」は take care of、③「～に頼る」は depend on などの表現があります。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「get to ～」です。「get to ～」は、「～に着く、到着する」という意味で、日常会話で最もよく使われる口語的な表現です。場所の大小に関わらず使えるのでとても便利です。②arrive at や③arrive in、④reach は、get to よりも少しかしこまった響きがあります。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「～歳」です。「... years old」は、...の部分に数字を入れて年齢を表す決まった言い方です。例えば、10 歳なら「ten years old」となります。②「～年間」は for ... years、③「～歳未満」は under ... years old、④「～歳以上」は ... years old or older のように表現します。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「from A to B」です。「from A to B」で、場所や時間の範囲について「A から B まで」という意味を表します。非常に幅広く使える便利な表現です。他の選択肢は、①「between A and B」が「A と B の間に」、②「around A and B」は不自然な表現、③「over A and B」も不自然な表現です。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「one day」です。「one day」は、過去または未来の特定しない「ある日」という意味で使われます。物語の始まりなどでよく見かける表現です。③「that day」は「その日」、④「every day」は「毎日」という意味です。②「some day」は one day と似ていますが、未来の「いつか」を表すことが多いです。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「need to do」です。「need to + 動詞の原形」で、「～する必要がある」と、何かをする必要性を表します。他の選択肢は、①「can do」が「～することができる」、②「may do」が「～してもよい、～かもしれない」、④「will do」が「～するだろう、～するつもりだ」と、それぞれ違う意味を持つ助動詞の表現です。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④「A に引っ越す」です。「move to A」で、住む場所を「A に引っ越す」という意味になります。from B をつけて「B から A へ引っ越す」と言うこともできます。①「A を訪問する」は visit A、②「A に旅行する」は travel to A、③「A に滞在する」は stay in/at A です。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「家に帰る」です。「go home」は、今いる場所から「(自分の) 家に帰る」という移動を表す表現です。home は「家に」という副詞の働きをするので、前に to をつけずに「go home」と言うのがポイントです。②「家に着く」は get home、③「家にいる」は be at home、④「家から出る」は leave home です。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「例えば」です。「for example」は、具体的な例を挙げるときに使う「例えば」という意味の重要な表現です。文の途中や最後に使われます。②「ところで」は by the way、③「つまり」は that is、④「しかしながら」は however です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「write to 〜」です。「〜に手紙を書く」という場合、write の後に to をつけ、その後に相手を置くのが基本の形です。他の選択肢のような前置詞は通常使いません。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①「一日中」です。「all day」または「all day long」で、「一日中ずっと」という意味になります。②「毎日」は every day、③「一日おきに」は every other day、④「一日のうちに」は in a day です。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③「無料で」です。「for free」は「無料で、ただで」という意味の口語的な表現です。free には「自由な」という意味もありますが、この場合は「無料」です。①「景品として」は as a prize、②「自由に」は freely、④「確かに」は for sure などと言います。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②「take a shower」です。「シャワーを浴びる」は「take a shower」と表現するのが最も一般的です。動詞 take を使うのがポイントです。①「make a shower」は「シャワー室を作る」という意味になり、③「get a shower」や④「do a shower」は、この意味では使わない不自然な表現です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②「～になりたい」です。「want to be ～」は、将来の夢や職業などについて「～になりたい」という願望を表す表現です。「want to do (～したい)」の応用で、do の代わりに be 動詞の原形 be が使われています。①は will be、③は should be、④は must be など表せます。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「help A with B」です。「help A with B」で、「A (人) の B (こと) を手伝う」という決まった言い方になります。前置詞 with を使うのがポイントです。他の選択肢のように for, to, from など使いません。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「将来に」です。「in the future」は、これから先の「将来に、未来に」という時を表す表現です。夢や目標を語るときによく使われます。①「過去に」は in the past、③「現在」は at present や now、④「すぐに」は soon です。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③「for a long time」です。「長い間」という期間の長さを表すときは、前置詞 for を使います。他の選択肢のように in, at, on など使いません。決まった言い方として覚えましょう。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②「たくさん」です。「a lot」は、動詞の後ろに置いて「たくさん、大いに」という意味を表す副詞です。「a lot of ～」が「たくさんの～」と名詞を修飾するのに対し、「a lot」は動詞を修飾する、

という違いがあります。①「少し」は a little、③「ときどき」は sometimes、④「全く～ない」は not at all です。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④「How long」です。「How long ～?」で、時間の「長さ」や物の「長さ」を尋ねることができます。他の選択肢も How を使った重要な疑問詞で、①「How many ～?」が数えられるものの「数」を、②「How much ～?」が数えられないものの「量」や「値段」を、③「How often ～?」が「頻度」を尋ねます。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「have no idea」です。「idea（考え）」が「no（全くない）」ということから、「見当もつかない、さっぱりわからない」という意味になります。「I don't know.」よりも、さらに分からないという気持ちを強調する表現です。他の選択肢は、②「いくつか考えがある」、③「良い考えがある」、④「悪い考えがある」という意味です。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④「out of ～」です。「out of ～」は、「～の中から外へ」という動きや、「(在庫などが) ～を切らして、なくなって」という意味で使われます。他の選択肢は、①「into ～」が「～の中へ」、②「onto ～」が「～の上へ」、③「off ～」が「～から離れて」という動きを表す前置詞です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を（注意して）聞く」です。「listen to ～」は、音楽や人の話などを、意識を向けて「聞く」という行為を表します。一方、①「～が（自然に）聞こえる」は hear を使います。この二つの「きく」の違いはとても重要です。③は ask、④は answer です。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③「play catch」です。「キャッチボールをする」は、動詞 play を使って「play catch」と表現するのが決まりです。他の選択肢の do, have, make などはいけません。スポーツやゲームを「する」ときは、play を使うことが多いですね。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②「～へ帰ってくる、戻ってくる」です。「come back to ～」は、話している人や聞いている人のいる場所へ「戻ってくる」というニュアンスで使います。come（来る）のイメージが重要です。①「～から出発する」は leave from、③「～を通り過ぎる」は pass、④「～に到着する」は arrive at/in や get to です。

50.

解答 ③

【解説】

正解は③「get off」です。「get off ～」で、バス、電車、飛行機などの公共交通機関から「降りる」という意味になります。反対に「乗る」は①「get on」です。②「get out」は車や部屋などから「出る」、④「get away」は「逃げる」という意味で、それぞれ使い分けが必要です。
